

運営ニュース

令和5年10月号



リサイクルプラザで 処理できないごみとは…

「家電リサイクル法」によりメーカーが回収・リサイクルするごみ、また専門業者に処理依頼するごみなどリサイクルの森では処理できない、問い合わせの多い品目についてまとめました



可燃ごみ焼却施設運転情報



焼却量と発電量

	1号炉(t)	2号炉(t)	合計	発電電力量(MWh)
令和5年7月	1033.54	2333.89	3367.43	1681.40
令和5年8月	2155.27	2153.27	4308.54	2174.53
令和5年9月	2087.36	1827.85	3915.21	2006.06

ばい煙濃度

採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定濃度			
			ばいじん濃度(g/m³N)	窒素酸化物濃度(ppm)	塩化水素濃度(ppm)	硫黄酸化物濃度(ppm)
組合管理値			0.01	50	30	20
1号炉排ガス	令和5年8月4日	令和5年8月23日	<0.001	30	14	6
2号炉排ガス	令和5年8月4日	令和5年8月23日	0.001	32	14	7

イベントなどのお知らせ

体験イベント

「ステンシルでオリジナルエプロンを作ろう」を開催します

開催日時 2023年12月2日(土)
①午前の部 10:00～
②午後の部 13:00～(約90分間のプログラムです。)

会場 桑名広域清掃事業組合 リサイクルの森
(桑名市多度町力尾字沢地4028)

実施内容 「ステンシルでオリジナルエプロンを作ろう」

参加対象 桑名市・木曽岬町・東員町の在住者

定員 午前・午後の部とも 各5組15名程度
※カッターをしますので小学校3年生以下の方は保護者同伴
※お子様は上靴持参

応募方法 先着順の事前予約制となります。
参加ご希望の方は下記期間中に「リサイクルの森」へ、
お電話(0594-87-5133)にてご応募ください。

応募期間 11月1日(水)～12月1日(金) 9時～16時まで

問合せ先 リサイクルの森 くわなEサービス
(TEL 0594-87-5133/FAX 0594-87-5152)



←ホームページは
こちら



「リサイクルの森」で処理できないごみと その処分方法について質問の多いものを下記にまとめました。

桑名市・木曽岬町・東員町「ごみの出し方ハンドブック」を併せてご参照願います。

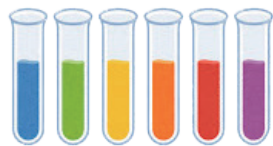
持ち込めないもの

家電リサイクル法 対象4品目

テレビ エアコン
洗濯機・衣類乾燥機
冷蔵庫・冷凍庫

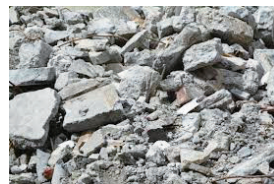
買替えなど販売店に引取りを依頼。
または指定引取場所に直接持ち込み。
詳細は、家電リサイクル券センター
☎ 0120-319-640

危険物(農薬)・医療系



購入店または販売店に
相談してください。

レンガ・瓦・瓦礫



桑 名 市・・・清掃センターへ
木 曽 岬 町・・・収集不可
東 員 町・・・最終処分場へ

消火器



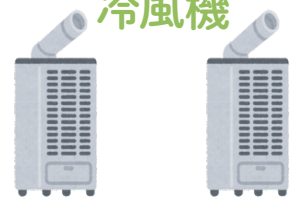
消火器リサイクル窓口 検索
☎ 03-5829-6773

タイヤ・車部品



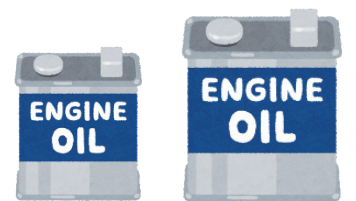
購入先・専門業者に
処分を依頼してください。

フロン使用除湿器・ 冷風機



収集運搬業の許可を受けた業者に
相談してください。

オイル(食用以外)



購入店・ガソリンスタンドに
相談してください。

プロパンガスボンベ



取引している販売店に
相談してください。

リチウムイオン電池



リチウムイオン電池が内蔵されて
いる製品も持ち込みできません。

購入先・専門業者に処分を
依頼してください。

有害ごみについて

持ち込まれることの多い乾電池・蛍光灯などについて

マンガン乾電池 アルカリ乾電池



有害ごみの日に、有害ごみの袋に入れて
有害ごみ集積場に出してください。
尚、ボタン電池・充電式電池などは、
できるだけ電気販売店等に設置して
ある回収箱をご利用ください。

蛍光灯



蛍光灯(直管形・環型・電球型)は有害
ごみ指定袋で出してください。
白熱電球・LED・ハロゲンランプグ
ロー球など蛍光灯以外は、不燃ごみ
指定袋に出してください。

水銀体温計など



水銀体温計・水銀温度計・カセット
テープ・ビデオテープ・インクリボン類
は、有害ごみの袋に入れて有害ごみ
集積場に出してください。(桑名市)
※テープ類について、東員町は粗大ご
み、木曽岬町は可燃ごみとなります。

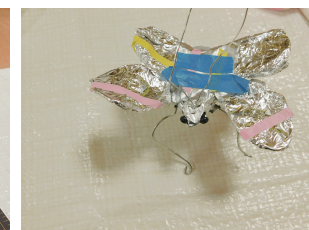
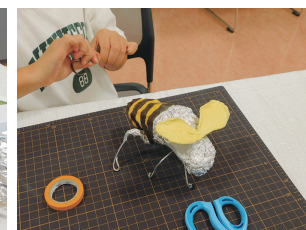
イベント報告

8/19(土) 夏休みイベント第2弾が開催されました。

午前の部は特別見学ツアーと題し、普段の見学では見ることのできないプラットホームに降りたり中
央制御室の中に入ったりして、家族連れなど大勢の方々に、楽しく学んでいただきました。



午後の部は、アルミワイヤーとアルミホイルを使って自分だけの夢の昆虫を作るエコ工作教室を開
催しました。講師の先生をお呼びして、個性あふれるおもしろい昆虫を作っていました。地
域の方々に大勢参加いただき賑やかなイベントになりました。



1人1人の皆様のご協力をお願いします。